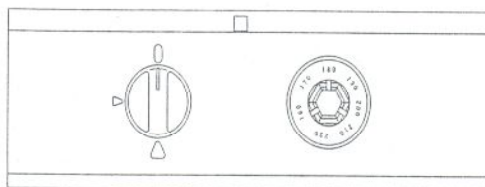


VI. 使用方法

■点火方法

- ①ガスの元栓を開けて下さい。
- ②器具栓つまみを「0」印の位置で押し込み、そのまま「▷」印の位置まで押し回しパイロットバーナーに点火を確認後、その位置で約20秒間押し続けて下さい。
(1回で点火しないときは、一旦器具栓つまみを「0」印の位置まで戻し、再度②の動作を行って下さい。万一、それでも口火に点火しない場合は、のぞき窓を開け、器具栓つまみを「▷」印の位置まで押し回して、ガスマッチ等で点火させることができます。)
※燃焼中は、必ずのぞき窓を閉めておいて下さい。
- ③口火（パイロットバーナー）の点火を確認した後、器具栓つまみから一旦手を離し、更に「△」印の位置まで回して下さい。
- ④サーモスタットを回し、ご希望の油温に設定して下さい。
(設定温度に達すると、炎が消えていきます。)
- ⑤設定温度に到達後、調理物を油槽に入れて下さい。



■消火方法

- ①器具栓つまみを「▷」印の位置まで戻し、更に、器具栓つまみを押し込んでから「0」印の位置まで回して下さい。
- ②使用後は、必ずガスの元栓を閉めて下さい。

ガスが正しく燃焼しているか、1日に1度は確認して下さい。
また、あらかじめ最良の燃焼状態にセットされていますが、
万一、炎の状態が良くないときは、販売店までご連絡下さい。

(お知らせ)

・本機を初めて使用されるとき、臭いがしますが異常ではありません。断熱材の有機分が焼ける臭いであり、特に問題はありません。しばらく使用すると、臭いは消えます。

VII. 保守・点検、手入れ・清掃

⚠ 警告 保守・点検・手入れ・清掃の前には、ガスの元栓を閉め、機器が冷えてから行って下さい。

■保守・点検

- 可燃物を機器のそばに置いていないか確認して下さい。

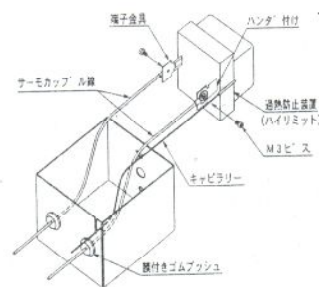
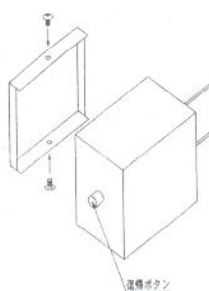
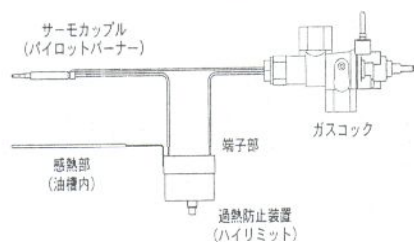
- 各部、部品等破損していないか確認して下さい。
- 槽内の各センサーが傷ついたりしていないか確認して下さい。
- 煙突内に物、ゴミ等落ちていないか確認して下さい。
また、煙突カバーを物等でふさいでいないか確認して下さい。
- 何か不審な点等あれば、異常時の処置の項を参照して下さい。

■油温過熱防止装置

・油温の過熱防止のため、油温過熱防止装置を設けてあります。

油温過熱防止装置が作動したと思われる時には、次の順序で原因を確認して下さい。

- ①ガスの元栓を閉じて、フライヤーの周囲の火も消して火災のおそれの無い様にして下さい。
- ②油温が異常に上昇している場合、感熱棒が外れていたり、汚れていたり、線が異常に折れ曲がったりしていることもありますので確認して下さい。
- ③感熱棒が正常の時は、サーモスタットの異常と思われますので、最寄の当社営業所まで御連絡下さい。
- ④過熱防止装置の配線が正常になされていないと、過熱防止装置の誤動作の原因となります。



この様な場合は、サーモカップル、過熱防止装置の配線の断線、ショート、本体へのショートなどが無いのか確認して下さい。

以上の事を確認しても原因不明の際には、最寄の当社営業所まで御連絡下さい。

■パイロット・ノズル掃除機構 (※12THは無し)

- ・口火に着火しない場合、ノズル掃除用シャフトを軽く押し上げて下さい (数回繰り返す)。ノズルがきれいになり着火します。

※ガスコックを「0」印の位置で行って下さい。

